

選考問題例

過去に出題された問題を掲載しています。

※ 出題された教養考査、専門考査、経験小論文、論文の問題については、一定期間、警視庁情報公開センター（警視庁本部庁舎 1 階）及び都民情報ルーム（都庁第一本庁舎 3 階）にて閲覧することができます。

◎ 職種共通

【教養考査】

〈知識分野〉

【法律】 憲法の保障に関する記述として、最も妥当なのはどれか。なお、争いがある場合は、判例の見解による。

- (1) 憲法保障制度とは、憲法が、法律等の下位の法規範や違憲的な権力行使によって脅かされ、ゆがめられた場合に、事後的に是正するための制度であり、憲法の崩壊を招く政治の動きを事前に防止することはできない。
- (2) 憲法第 81 条は、違憲審査の対象は「一切の法律、命令、規則又は処分」であると規定しており、裁判所の裁判も審査の対象になる。
- (3) 違憲審査制は、憲法保障制度の中でも重要なものといえるが、我が国では、最高裁判所だけでなく下級裁判所にも違憲審査権が認められ、憲法第 81 条に明文で規定されている。
- (4) 我が国の違憲審査制は、付随的違憲審査制を基本としているが、最高裁判所に限り、具体的な争訟と関係なく、抽象的に法律その他の国家行為に関する違憲審査を行うこともできる。
- (5) 憲法保障制度には、憲法には定められていないが超憲法的な根拠によって認められると考えられる制度もあり、例として、抵抗権が国家緊急権の一種として挙げられる。

【正答（2）】

【経済】 次の経済学者に関する記述として、最も妥当なのはどれか。

- (1) アダム＝スミスは『国民経済学体系』の著者であり、市場経済における自由競争が、「見えざる手」による需要・供給の調整をもたらすと主張した。
- (2) ケインズは『雇用・利子および貨幣の一般理論』の著者であり、有効需要の原理を提唱して、政府が公共事業などを行って有効需要を作り出し、完全雇用の達成をめざす必要性を主張した。
- (3) ケネーは『経済表』の著者であり、重農主義を批判し、経済活動に対する国家の干渉・統制の弊害を主張した。
- (4) マルサスは『資本論』の著者であり、資本主義経済の構造を科学的に分析し、資本主義社会から社会主義社会への必然的移行を論じた。
- (5) リカードは『選択の自由』の著者であり、比較優位の商品に特化するという比較生産費説を提唱して自由貿易の利益を主張した。

【正答（2）】

〈知能分野〉

[判断推理] イベント会社A～Eの5社に見積りを依頼し、次のことがわかっているとき、ア、イの推論についていえることとして、最も妥当なのはどれか。

- 最高額は、120万円だった。
- 最低額は、90万円だった。
- 最高額はCで、Cと同額の会社はなかった。
- AとBの金額は、20万円差であった。
- BとEの金額は、10万円差であった。
- DとEの金額は、10万円差であった。

ア 最低額は、Bである。

イ Aの金額は、100万円である。

- (1) アもイも正しい。
- (2) アは正しいが、イは誤り。
- (3) アは誤りだが、イは正しい。
- (4) アもイもどちらともいえない。
- (5) アはどちらともいえないが、イは誤り。

【正答 (5)】

[数的推理] ある電車では、1両の乗車定員のちょうど56%となる座席数がある。1両に72人が乗ったときは全員が座ることができたが、87人が乗ったときには何人かが座れなくなった。このとき、1両の座席数として、最も妥当なのはどれか。なお、座席数は正の整数とする。

- (1) 76
- (2) 78
- (3) 80
- (4) 82
- (5) 84

【正答 (5)】

【論 文】

[課 題]

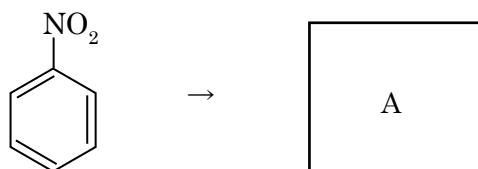
組織の中で自分の力を発揮するために大切だと思うことについて述べ、それを踏まえてどのような警察官になりたいか述べなさい。

◎ 科学捜査官 (化学)

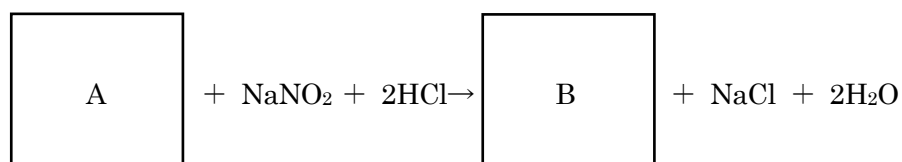
【専門考査】

[設問] ニトロベンゼンからベンズニトリルの合成に至る過程に関する以下の各問いに答えなさい。

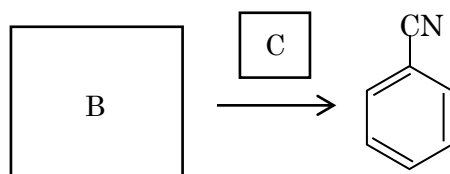
- (1) ニトロベンゼンを還元すると得られる生成物 **A** の名称と構造式を示しなさい。



- (2) 得られた生成物 **A** に塩酸と亜硝酸ナトリウムを作用させて得られる生成物 **B** の名称と構造式を示しなさい。



- (3) 生成物 **B** からベンズニトリルを作る際に用いる試薬 **C** の名称を記載しなさい。



- (4) 生成物 **A** からベンズニトリルを合成する人名反応を記載しなさい。

【経験小論文】

[課題]

自分が経験してきた専門領域の業績を説明し、その知識や技術を今後の捜査にどのように活かせるか述べなさい。

◎ サイバー犯罪捜査官

【専門考査】

〔設問〕 F社は、内部不正に関する対策を推進するため、方針検討のために、世の中の脅威事例について調査を実施した。以下、F社が整理した〔内部不正事例（一部抜粋）〕について、次の①～③に答えよ。（一部改変）

金銭の着服	地方金融機関において、営業員が休眠口座の預金を着服した。 【主な原因】営業成績のよい営業員を配置転換せずにいたこと及び相互に監視しない環境であったことから、不正行為が見つかりにくい環境であった。
重要なデータ等の持ち出し	中小企業において、システム管理者が社長のPCの設定を変更して社長宛のメールを自身のメールアカウントに転送して読んでいた。 【主な原因】この企業には、システム管理者を担当する社員が1人しかおらず、内部不正を行っても見つかりにくい環境であった。また、この社員は、システム管理者に求められる規範意識が低かったことも考えられる。
重要なデータ等の外部への漏えい	ノートPCが机の上に山積み状態で長期間放置されていた環境で、ノートPCが知らぬ間に紛失していた。その後の調査によって、ノートPCが売却されていることが発覚したが、犯人は不明であった。 【主な原因】ノートPCの管理がされておらず、フロアに入れる者であれば誰でも持っていくことができた。
退職後の営業機密の持ち出し	企業において、元従業員が企業ネットワークへのリモートアクセス接続サービス (a) を使って、機密情報を持ち出していた。 【主な原因】企業ネットワークへのリモートアクセス接続サービスにおいて、元従業員のアカウントが削除されていなかった。

- ①事例のような不正が発生する際には、「不正のトライアングル」の3要素がすべて存在すると考えられている。不正のトライアングルの3要素について、「動機・プレッシャー」以外の2要素を、それぞれ3文字以内で記述せよ。
- ②下線 (a) について、Windows 及び Linux で主に用いられる RDP、SSH のポート番号を、それぞれ記述せよ。
- ③内部不正を脅威と捉える場合、従来の境界型防御では限界があり、ゼロトラストの考え方に基づいたセキュリティ対策が必要である。ゼロトラストを構成する要素として、CSPM とはどのようなものか。100字以内で記述せよ。

【経験小論文】

〔課題〕

あなたがこれまでに得た知識、経験を、今後の警察のサイバー犯罪捜査にどのように役立てられるか、あなたの考えを述べなさい。